

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成25年8月5日（月）～8月11日（日）〔平成25年第32週〕の感染症発生状況

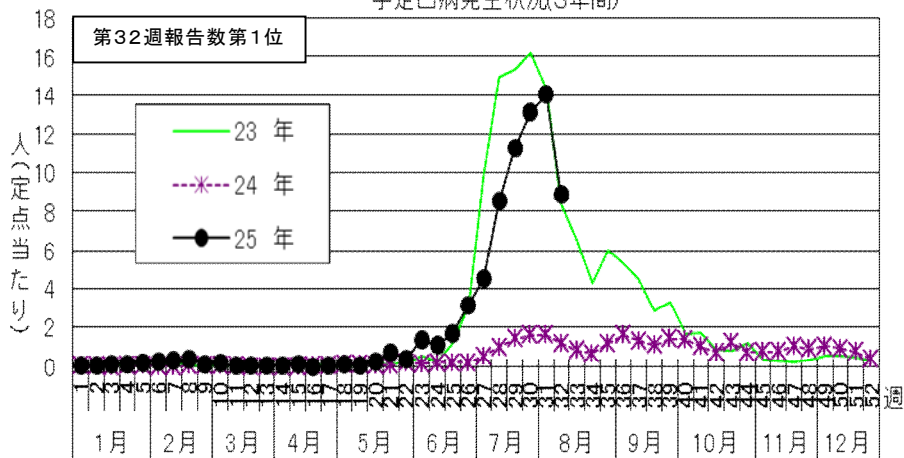
第32週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナ でした。

手足口病は定点当たり8.87人と前週（13.61）より患者報告数は減少しましたが、流行発生警報基準値（定点当たり5人）を超え、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

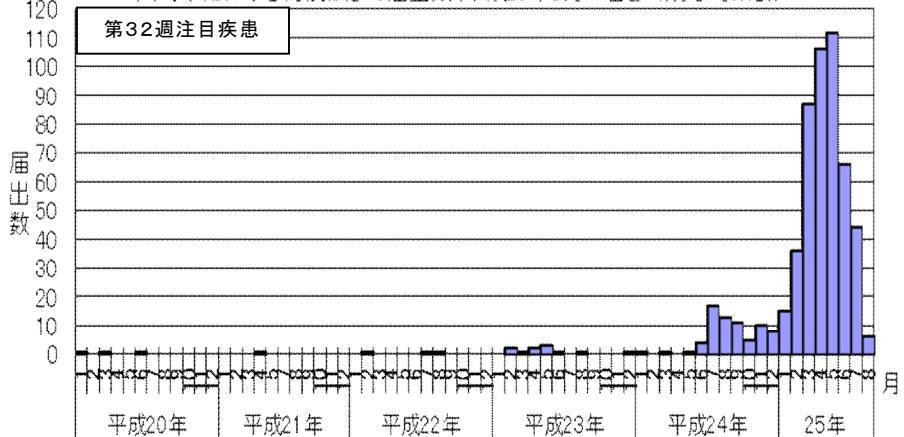
感染性胃腸炎は定点当たり4.17人と前週（3.88）より報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出はありませんでしたが、全国的に、5月下旬以降届出数は増加傾向にあるため、引き続き発生動向に注意が必要です。

手足口病発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年8月11日診断分まで集計)



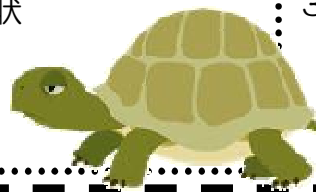
「動物由来感染症」ってご存知ですか??

「動物由来感染症」とは、動物から人に感染する病気の総称です。特に海外では、鳥インフルエンザや狂犬病など多くの動物由来感染症が発生しており、近年ではカメを原因とするサルモネラ症も発生しています。

「カメ」からサルモネラ!?

米国では、平成23年5月以降、主に乳児を中心として、子どもが「カメ」に触ったことを原因とするサルモネラ症の集団発生が、広域的に繰り返し発生しています。

カメ等のハ虫類の多く（50～90%）は、国内外を問わず、サルモネラ属菌を保有しており、胃腸炎症状を起こしたり、まれに菌血症や髄膜炎等の重篤な症状を引き起こす場合があります。ことが知られています。



動物からの感染を防ぐには?

1 細菌やウイルス等が動物の口の中やつめにいる場合があるので、**動物との過剰な触れ合いは控えましょう。**



2 動物の毛には寄生虫の卵などがついていことがあるので、**動物に触ったら、必ず手を洗いましょう。**

3 野生動物は、どのような病原体を保有しているかわかりませんので、**家庭での飼育や野外での接触は避けましょう。**

